Panasonic

HIDペンダント

取扱説明書

保管用

（一般屋内用）

組合せ品番	器具品番	2重セード（別売）	1重セード（別売）	適合ダイクールSミラー（別売）
XNNC0150	NC10999S	NK01055（外）透明（内）フロスト	-	NK01993　狭角　10度 NK01994　中角　20度 NK01995　広角　40度
XNNC0151		NK01057（外）透明（内）アルミ	-	
XNNC0152		-	NK01045（外）フロスト（内）-	
XNNC0153		-	NK01047（外）アルミ　（内）-	
XNNC0154		NK01058（外）透明横リブ（内）フロスト	-	
XNNC0155		-	NK01048（外）透明　（内）-	

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

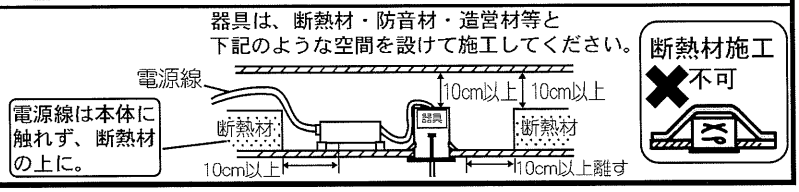
施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

安全に関するご注意

⚠危険

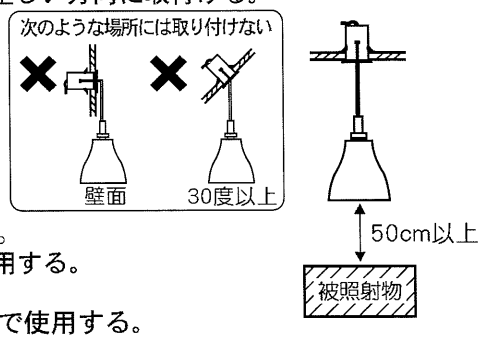
●断熱材、防音材をかぶせて使用しない。
火災の原因となります。

・住宅の断熱施工天井には、使用できません。



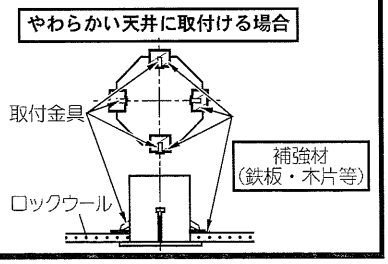
⚠警告

●施工は、取扱説明書にしたがい確実に行う。施工に不備があると火災・感電・落下の原因となります。
●天井取付け専用ですので、壁取付けや天井直付け及び傾斜天井30度以上への取付けはしない。
また、器具取付けに方向性があり、本体表示及び取扱説明書にしたがい正しい方向に取付ける。
指定方向以外に取付けると落下・感電・火災の原因となります。
●接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって確実に行う。
接地が不完全な場合、感電の原因となります。
●器具の改造および構成部品（ソケット、コードなど）の交換をしない。
火災・感電・落下の原因となります。
●器具と被照射物は50cm以上離す。被照射物の火災・変色の原因となります。
●適合ミラーを取外した状態では、絶対に点灯しない。
紫外線による目や皮膚の障害およびランプ破損によるけがの原因となります。
●本体表示及び取扱説明書にしたがって、指定されたランプ・ミラーを使用する。
指定以外のランプ・ミラーを使用すると、火災の原因となります。
●表示された電源電圧AC100～242V（定格電圧±6%）・周波数50/60Hzで使用する。
指定以外の電源電圧・周波数で使用すると、火災・感電の原因となります。



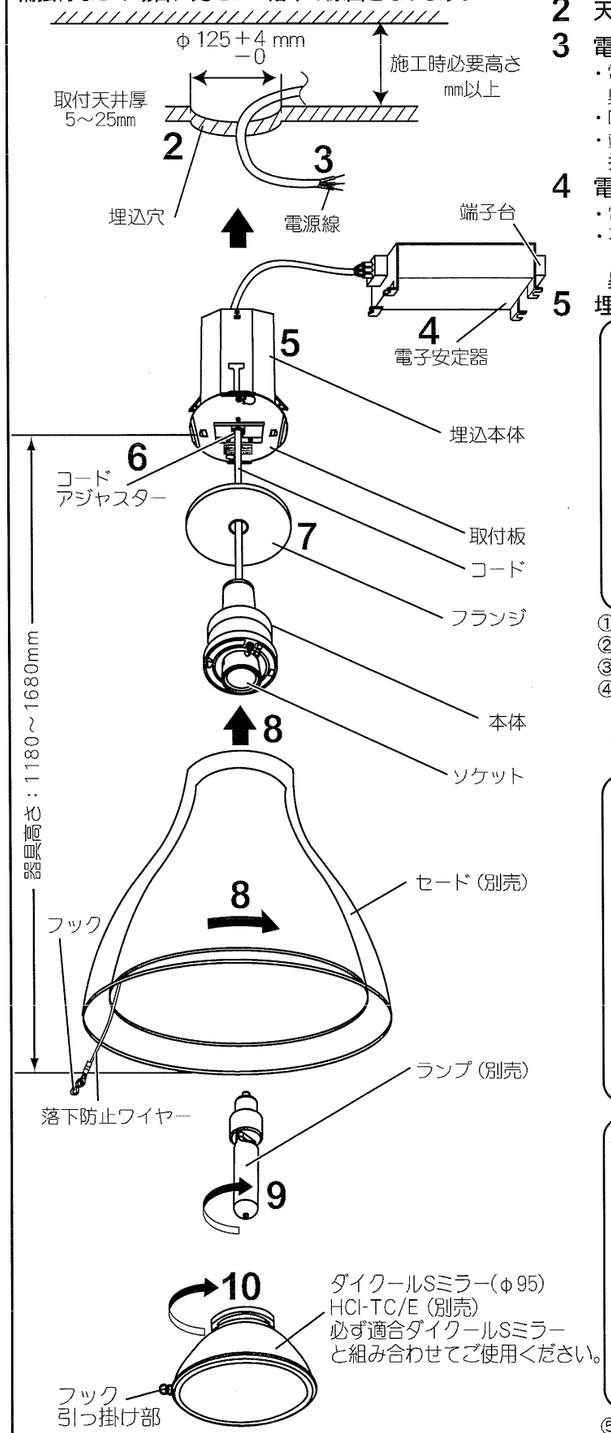
⚠注意

●直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しない。火災・感電・落下・サビの原因となります。
●周囲温度は、5～35℃で使用する。指定以外の周囲温度で使用すると、火災の原因となります。
●取付け面がクロス貼りの場合、接着剤が十分に乾燥してから器具を取付ける。サビや変色の原因となります。
●インバータライコン（調光器）との併用はできない。故障の原因となります。
●器具の取付け部以外の本体外郭が、天井内の造営物やダクト等の設備に触れない様に施工する。火災の原因となります。
●漏電ブレーカの感度電流を設定する際には、以下のことにご注意する。漏電ブレーカの誤動作の原因となります。
1) ランプ点灯時よりも無負荷時の方が漏洩電流が大きい場合があります。
2) 単相3線200Vで切片スイッチを使用する場合は、ランプ点灯時よりも消灯時の方が漏洩電流が大きい場合があります。
注) 無負荷時の漏洩電流の測定は、点灯時の漏洩電流測定後に下記の方法で行ってください。
消灯後（ランプ装着状態で）、約5秒後にスイッチを入れ、点灯（放電）開始までの間に測定する。
（周囲環境により異なりますが、点灯（放電）開始までに5～30分かかります。）
●ロックウール等のやわらかい天井及び珪酸カルシウム板の天井に取付ける場合は、必ず取付金具と天井の間に補強材（鉄板・木片等）を入れる。
補強材なしの場合、光モレ・落下の原因となります。



各部のなまえと取付け方

ロックウール等のやわらかい天井及び珪酸カルシウム板の天井に取付ける場合は、必ず取付金具と天井の間に補強材（鉄板・木片等）を入れてください。
補強材なしの場合、光モレ・落下の原因となります。



1 取付け前の確認

・器具質量（2重セード：約3.5kg、1重セード：約2.8kg）および操作力に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。
不備があると落下の原因となります。

2 天井にφ125$^{+4}_{0}$ mmの埋込穴をあける

3 電源線を端子台に接続する

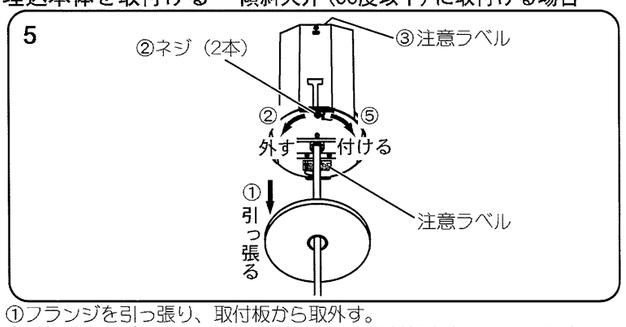
・電源線・アース線を端子台の差し込み穴の奥まで確実に差し込む。
・D種（第3種）接地工事が必要。
・端子台の容量は20Aです。
接続が不完全な場合、容量オーバーした場合、感電・火災の原因となります。

3 適合電線φ1.6 φ2.0単線 VVFケーブル
確実に差し込む
アース線
アース端子
10～14 mm
（電源側）
端子台
（送り付）
外し穴
（送り側）

4 電子安定器を設置する

・電子安定器を天井内の平らな所に横転・逆転しないように設置する。
・不安定な場所や横転・逆転の恐れのある場所に設置する場合は、安定器をネジ(別途)で固定してください。
異常設置の場合、器具の故障の原因となります。

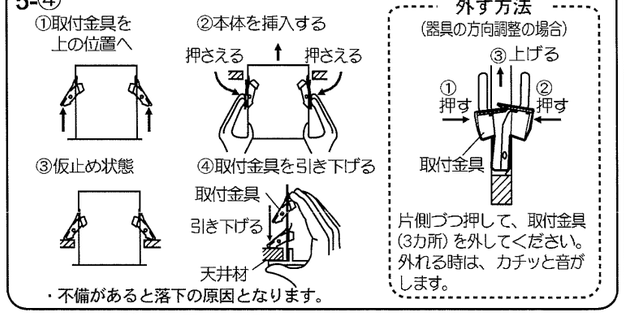
5 埋込本体を取付ける ・傾斜天井（30度以下）に取付ける場合



①フランジを引っ張り、取付板から取外す。
②取付板のネジ(2本)を5mm程度ゆるめ、取付板を左に回して取外す。
③埋込本体上部の注意ラベルの矢印を天井の高い方に向けて合わせる。
④取付金具またはボルト吊りにて埋込本体を固定してください。
コードが埋込本体と埋込穴の間に挟まらないように注意してください。
埋込本体の固定後、天井面と埋込本体との間にガタツキがないことを確認してください。

取付金具の場合

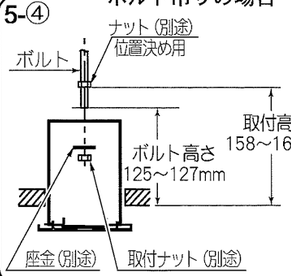
5-④



・不備があると落下の原因となります。

ボルト吊りの場合

5-④



・取付ボルトはW3/8又はM10を使用してください。
不備があると落下の原因となります。
注）取付ナットは締め過ぎないようにしてください。
・ボルト取付時は本体が変形しないように、取付ナットの締付力を調整してください。

⑤取付板の注意ラベルの矢印を天井の高い方に向けて合わせ、②でゆるめたネジ(2本)に通し、右に止まるまで回しネジ(2本)を締め付ける。
・水平天井に取付ける場合は手順5-③は必要ありません。

6 コード長さの調整

⚠警告 器具と被照射物は50cm以上離す。被照射物の火災・変色の原因となります。

・お好みにあわせて器具の高さを調整してください。

7 フランジを取付ける

・フランジのツメを、取付板の穴2カ所に合わせて押し上げ取付板に固定する。
・外す場合は、フランジの溝にマイナスドライバー等を引っ掛けて外してください。

7
穴
取付板
溝
フランジ
ツメ

8 セード（別売）を取付ける

①本体のセード固定用ネジ(2カ所)を5mm程度ゆるめる。
②セード(別売)のダルマ穴に本体のセード固定用ネジ(2カ所)に合わせ本体の爪に引っ掛かるまで右に回す。
③セード固定用ネジ(2カ所)を締め付ける。
④落下防止ワイヤーのフックをダイクールSミラー(別売)に引っ掛ける。

⚠注意 必ず、本体の落下防止ワイヤーをダイクールSミラーのフック引掛け部に引っ掛ける。守らないと落下による破損の原因となります。

9 ランプ（別売）を取付ける

・ランプ(別売)をソケットに最後まで確実にねじ込む。
不備があると落下・火災の原因となります。

10 ダイクールSミラー（別売）を取付ける

①ダイクールSミラーを押し込みながら
②最後まで確実に右に回して取付ける。
不備があると落下・火災の原因となります。

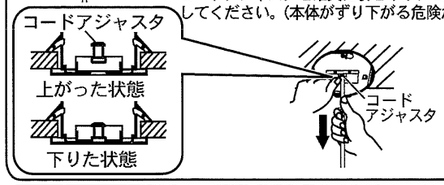
10
ダイクールSミラー(別売)
②回す
①押し込む

コードの長さ調整について

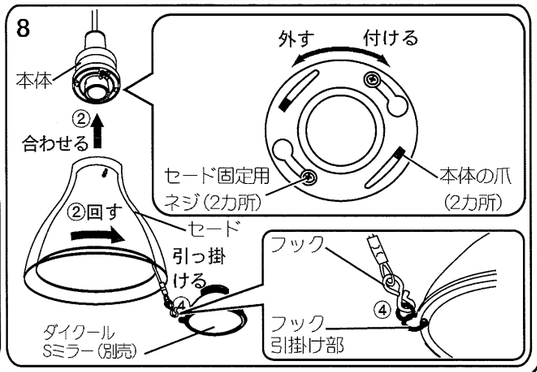
6 **⚠警告** コードの赤ラインを超えて引っ張らない。コード断線によるランプ不点灯の原因になります。

●短くする場合
コードを押し込む

●長くする場合
・フランジを外した状態で行ってください。
コードアジャスタを上に押し上げたまま押えながらコードを引き下げる。アジャスタの押し上げが不完全な場合、コードの引き下げができません。
・調整後フランジを取付けて下さい。
コードが出ない場合はコードが引っ掛っている場合があるので無理に引っ張らず取付板を外してください。
・コードアジャスタを確実に引き下げ、コードを固定してください。(本体がずり下がる危険があります)



8



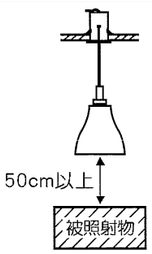
取扱説明 **お客様へ、この説明書は必ず保管ください。**

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

●**器具の改造および構成部品（ソケット、コードなど）の交換をしない。**
火災・感電・落下の原因となります。
●**布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない。**
火災の原因となります。
●**器具と被照射物は50cm以上離す。**
被照射物の火災・変色の原因となります。
●**異常を感じた場合、速やかに電源を切る**
異常状態が収まったことを確認し、販売店・電気工事店にご相談ください。
●**ランプ交換の際には、本体表示及び取扱説明書にしたがって、指定されたランプを使用する。**
指定以外のランプを使用すると、火災の原因となります。
●**アルカリ系洗剤は使用しない。**
強度低下による破損の原因となります。



⚠注意

●**器具を温度の高くなる物（ストーブ・ガスレンジ等）の近くや湿気の発生する場所では使用しない。**
火災の原因となります。
●**点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない。**
やけどの原因となります。
●**照明器具には寿命があります。設置して10年※経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。**
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

取説NO.NC10999S-TB2

使用上のご注意

●**ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。**
雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。

●**同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。**
事前に確認し、対策を講じてください。

●**ランプ点灯直後は暗く、明るくなるまでに時間がかかる場合があります。**

保証について

●**保証について**
この商品の保証期間は1年間です。但し、安定器は3年間です。ランプ等の消耗品は除きます。
詳細は弊社カタログをご参照ください。

●**保証書について**
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

●**補修用性能部品（電気部品）の保有期間**
弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・ランプ交換 ⚠注意（必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因となります。）

●**器具の清掃について** ----------

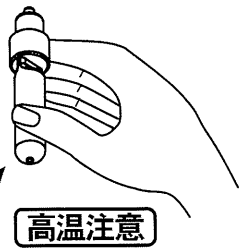
・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。

●**ランプ交換について** ----------

・本体表示にしたがって下記に指定されたパナソニック製のランプを使用してください。
・ランプを交換後も点灯しない場合は、安全のために安定器が動作停止していることがあります。電源を一旦切ってから再度電源を入れなおしてください。

⚠警告	指定以外のランプを使用しますと火災の原因となります。

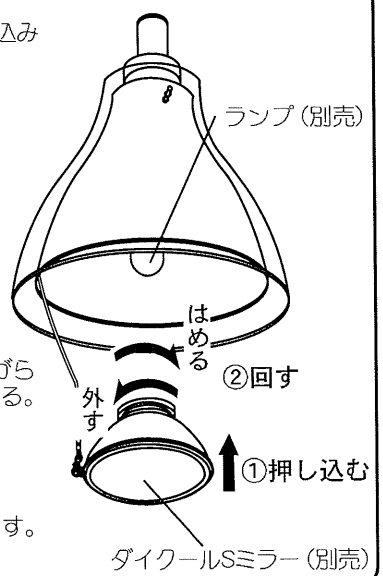
適合ランプ（指定）	
HCI-TC/E 70形	HCI-TC/E70W WDL HCI-TC/E70W NDL
ショップライト 70形 （高輝度タイプ）	HCI-TC/E70W/WDL/930



⚠注意	やけどのおそれあり 点灯中や消灯直後はランプやその周りにさわらない。

ランプ交換方法

1. ダイクールSミラー（別売）を押し込みながら左に回して取外す。
2. ランプ（別売）を交換する
注）ランプを素手で触らないでください。
（短寿命・破損の原因）
・ランプを右に止まるまで回し、取付けてください。
ランプの取付けが不十分な場合、落下・感電・故障の原因となります。
3. ダイクールSミラーを押し込みながら最後まで確実に右に回して取付ける。
不備がありますと、落下の原因となります。
すべりやすい手袋はご使用にならないでください。
ゴム手袋のご使用をおすすめします。



パナソニック電工株式会社 ナショップ・調光システム事業部 （〒571-8686）大阪府門真市門真1048

N0306-050710